

1-17 ペレット堆肥を生産し、地域内のみならず、広域へ流通を拡大
(有限会社ブライトピック千葉)

○ 旭市飼料用米堆肥利用者協議会の取組として有限会社ブライトピック千葉は、利用性の高いペレット堆肥を生産することで、地域内の水田における堆肥の利用を促進するとともに、肥料メーカーを通じた広域流通にも取り組む。

■国内資源の種類 ■肥料の種類・肥料名称 ■取組の経緯・内容・成果（見込み）

・豚ふん

種類：特殊肥料（ペレット堆肥）
商品名：(有)ブライトピック千葉
銚子農場ペレット豚糞堆肥

■主成分の含有量（％）、
■利用されている作物 特徴等

- ・飼料用米
- ・葉物類
(キャベツ・小松菜)
- ・馬鈴薯
- ・根菜類
(玉ねぎ)
- ・とうもろこし

N全量	P全量	K全量
4.1	8.1	1.9
C/N比	水分	
7.4	18.3	

※原物ベース

取組の経緯

- ・旭市及び銚子市は県内有数の畜産地帯であり、地域内の畑地のみで堆肥散布を増やすことが困難な状況にあった。そこで、これまで散布時期の集中や散布機械の未整備により進んでいなかった水田において堆肥利用を進めるため、既存の散布機械でも利用性の高いペレット堆肥の生産を開始した。また、ペレット化することにより、輸送性が高まったため広域流通にも着手した。

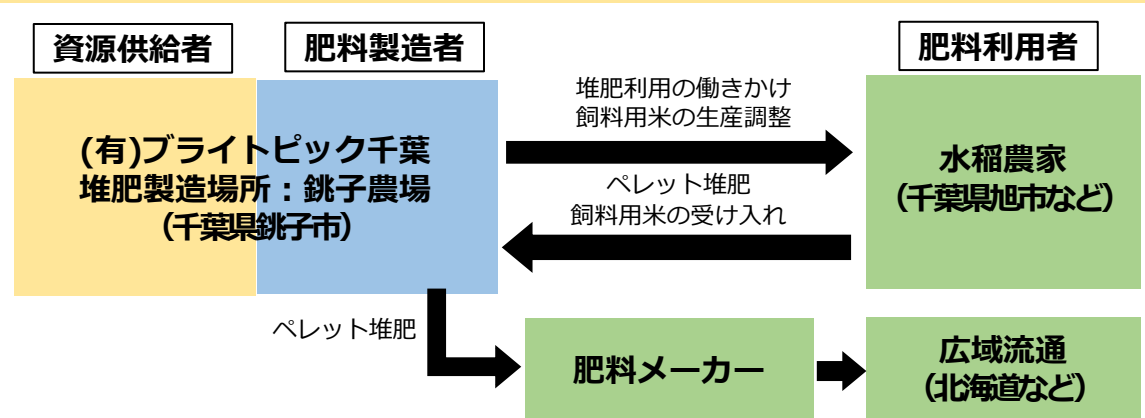
取組の内容

- ・豚ふんをコンポストで1次発酵させた後、スクリー式堆肥化施設で水分率を23%以下まで下げ、ペレット加工後さらに乾燥させ水分率18%にする。
- ・水稻農家に飼料用米でのペレット堆肥の利用の働きかけや、飼料用米の生産調整・受け入れを実施し、堆肥と飼料用米の地域内循環体制を構築。加えて、肥料メーカーを通じた広域流通にも取り組んだ。

成果（見込み）

- ・令和3年度末にペレット化装置を導入。
- ・現在、流通量の拡大に向け水田農家や肥料メーカーとの連携強化を図っているところ。

■主たる取組主体と肥料利用までの流れ



■今後の課題・取組

- ・ペレット堆肥の増産を行い、水田における利用の促進と、肥料メーカーを通じた広域流通の拡大を図る。
- ・化成肥料の高騰による代替えとして有機質肥料の見直し及び需要拡大に期待する。



販売しているペレット堆肥